

平成28年度富士見市協働事業提案制度 行政提案型協働事業

提案者名	富士見市社会福祉協議会
主な活動場所 (施設名等)	富士見市社会福祉協議会 (富士見市市民福祉活動センター「ぱれっと」内) 住所：富士見市大字鶴馬1932-7市民福祉活動センター「ぱれっと」内
構成員	市内在住 名 市内在勤・在学 名 市外在住 名 合計 95名
団体設立年月	昭和32年4月 (法人資格取得時期 昭和45年3月)
事業の名称	スポーツ交流を通して、障がいについて知ろう
事業期間	平成29年4月1日 から 平成30年3月31日 まで
事業の目的	障がい者スポーツを体験し、(講師は障がい当事者) 障がい者理解の推進と一人ひとりが違っていいという、共生社会の実現のきっかけ作りの一翼を担うことを目的とする。
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・パラリンピックやデフリンピック参加の選手を講師にお招きし、市民(特に子供)と共に運動(選手の競技)することを通して、障がい者理解を進める。 ・車いすバスケット選手やデフリンピックサッカー選手(富士見市在住：風間夫婦)・視覚障がい者柔道(富士見市在住：高橋氏)など複数競技の選手を招き、実施する。 ・スポーツの秋にちなみ、秋に開催。 ・単に、スポーツをして(体験して)終わりではなく、この企画を通じて、交流やあいサポート(共生社会の実現)への関心・興味を持てるよう(単発でない、継続的なかわり)体験と講話の2本立てで行う。
事業予算額	市補助金 150,000円 団体負担金 0円 合計 150,000円
協働の効果と 役割分担(要約)	<p>1 協働の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人の持っている無限の可能性と前に進むための努力を広く市民にPRするとともに、実際に体験するということは、市の広報力と社協の持つ人脈及び事業展開力が不可欠。 <p>2 提案団体が担う役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉教育の視点から市民に対し、障がいの理解と共生社会の推進をはかる。 ・日頃から関わりのある障がい当事者(スポーツ関連)と密な連携をとり、人が持つ無限の可能性を市民(特に子供)に知ってもらう企画・打合せ。 <p>3 市に期待する役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報活動及び会場の確保。 ・市内の障害者へ情報提供。 ・開催PR等。